



国際会長ニュース

命の川を信じよう

第2号 2020年8月



国際会長 ジェイコブ・クリステンセン

会員の皆さまへ

8月の国際会長ニュースをお届けいたします。このニュースは、国際協会会員の皆さまに、年間を通して様々な寄稿者の記事と毎月の最新情報をお届けすることを目的としています。興味深い記事を提供することで、国際協会とクラブの間の距離を縮めていきます。クラブと部の様々な話を「良い話を聞かせてください」で紹介していきます。この号では、国際兄弟クラブ(IBC)、リーダーシップ研修と組織開発についての記事、「良い話を聞かせてください」への2件の投稿、そしてIHQ(国際本部)からのニュースを読むことができます。



ジェイコブ・クリステンセン
2020-21 国際会長

IHQニュース-8月

8月は、国際兄弟クラブ(IBC)とリーダーシップトレーニング/組織開発(LTOD)の強調月間です。これらは、私たちの国際組織としての中核をなすものです。

私たちは、最新の、ブランド化された双方向のトレーニング教材の開発に継続的に注力し、LTODを支援しています。その一例として、8月8日から10日までオンラインで開催された国際議会(ICM)で承認された改正ABCマニュアルがあります。

ICMでは他にも多くの決定がなされました。2020-21年度のCHALLENGE 22の戦略が承認されました。

チャンス



- 国際的運動について全てのレベルで、その豊かな伝統と歴史を祝う。
- 永年に亘るクラブ、クラブメンバーの活動を覚える。
- ポール・ウィリアム・アレキサンダー遺産プロジェクトの資金を集める。
- ワイズメンズクラブ国際協会のイメージと存在感を高める。
- 2022年のハワイでの100周年国際大会を推進する。

この戦略のひとつとして、第2回「100日会員増強キャンペーン」が2020年9月1日から12月9日まで実施されます。この期間中、クラブは、次のような活動を行うよう奨励されています。

● YMI オープンハウスを開催し、会員候補者を招待して、私たちが私たちが何をしているかについて楽しく情報を提供しましょう。

● 遠隔地の会員の受け入れを検討しましょう。「YMI グローバルクラブ」は、少なくとも5名の地元会員を擁し、対応する区理事を通じて一般的な方法で登録されますが、バーチャル会員を無制限に受け入れることができます。バーチャル会員は、クラブの会員数を増やすことができ、従来のクラブの親睦に新たな一面を提供します。バーチャル会員は、時間に追われている、クラブに近い場所にいない、移動手段が限られているなどの新入会員候補者にとって最適な選択肢となります。

● 26歳から35歳までの新入会員および配偶者がクラブに入会した場合、国際会費が一時的に50%割引かれるという新会員会費割引制度を積極的に共有しましょう。

● ICM20(2020年度国際議会)では、2022年の創立100周年に向けた12ヶ月間の祝賀プログラムの枠組みも採択されました。

● ICM20の議事録は、9月中旬までに公開され、チャレンジ22とYMI@100の詳細だけでなく、その他の重要な議論と決定事項を強調し、2019/20年の最終決算報告と統計を含む予定です。

● 私たちは、すべてのクラブが自分たちに適用されるICMの決定について知り、それに伴う行動を起こすことが、強力で統一された運動を構築するための鍵となることを信じています。

計画



- 100周年の祝賀を2021-2022の地域大会、区大会と統合する。
- 主要10クラブプロジェクトを支援する。
- 100クラブのプロジェクトを「100周年記念奉仕プロジェクト」に選定する。
- 2021-2022の特定の日を全クラブの統一行動日とする。
- 会員に100周年記念品としてバッジ、旗を贈る。
- 100周年記念プロジェクトを支援する募金を実施する。

強調月間-8月

IBC(国際兄弟クラブ)で充実した体験を

IBC は、異なる国にある 2 つ以上のクラブ間のパートナーシップを促進し、国際的な親睦と協力のために力を合わせようとするプログラムです。

現在、IBC に参加している国は 51 カ国で、942 のクラブが締結しています。昨年は、幸運にも、新たに結成された多くの IBC がありました。具体的には、2 クラブ関係が 5 つ、トライアングルが 3 つ、クオドラングル(4 クラブ)が 1 つです。

新型コロナウイルスパンデミックによる渡航制限のため、ロシアの 2 つのクラブ(モスクワフレンズ & サンクトペテルブルクスメナ)と名古屋グランパス(西日本区)は、2020 年 6 月 15 日にオンラインでトライアングル IBC を締結しました。IBC 史上初のバーチャル調印式となりました。

新型コロナウイルスパンデミックについて、IBC による友好関係の非常に心強い例として、台南クラブ(台湾区)が日本の 3 つの IBC の相手先のクラブにサージカルマスクフィルターを寄贈したことが挙げられます。奈良クラブ(西日本区)、甲府クラブ、御殿場クラブ(東日本区)は、日本人がサージカルマスクの不足に苦しんでいた時期に、ワイズファミリーを助け、気遣う、温かい心遣いの恩恵を受けました。

IBC とのパートナーシップから、国際的な親睦と異文化理解を実現することができます。また、困った時にはクラブ同士が助け合い、社会、公衆衛生、環境に対する意識の向上を目的としたグローバルなプロジェクトに参加することができます。さらに、IBC とのパートナーシップは、国境を越えたエクステンション(Extension beyond the Borders: EBB)運動を通じて、新しいクラブを生み出すことができます。

もし、あなたのクラブが IBC の提携に関心を持っている場合は、区の IBC 担当事業主任(国際・交流事業主任)に連絡してください。IBC 締結の支援をいたします。

国際IBC事業主任 利根川恵子

LTOD(リーダーシップトレーニングと組織開発)

新型コロナウイルスの脅威と課題によって、私たちは、未曾有の規模ですべての国に降りかかってきた「新たな常態」(ニューノーマル)を受け入れるようになってきました。コミュニケーションやあらゆる形態の活動やビジネスは、自然消滅しないために抜本的に変わってきました。

国際 LTOD 事業主任として、国際会長トロイカや国際書記長と協力して、私たちの運動のあらゆるレベルに届くような教材を刷新し、再設計し、製作してきました。私たちは、可能な限りすべてのメンバーのリーダーシップを開発するために、クラブレベルまでのトレーニングを提供したいと考えています。国際協会のウェブサイト(<https://www.ysmen.org/training/>)に研修教材を掲載することで、すべてのリーダーと会員が、いつでもどこでも、クラブレベルでもアクセスできるようにしています。研修教材を魅力的で興味深いものにするために、カラフルで図の多いパワーポイントのスライドやビデオの形で提供しています。ほとんどが双方向であり、理解を深めるためのクイズもあり、積極的な参加と能動的に読み進めることを促します。

トレーニングの対象は、もはや選出または任命されたリーダーに制限されていません。人は、ワイズダムのリーダーとしての自分自身を成長させ、リードし、奉仕するために、あらゆる形の研修を受けることができます。トレーナーやファシリテーターの役割は、指導し、やる気を起こさせることです。そのため、地域会長(AP)、区理事(RD)、部長(DG)、クラブ会長(CP)は、お手本としてリードする必要があり、またそうしなければなりません。

今やリーダーには、知識を持ち、教育、コーチング、指導を行い、模範となるリーダーとしてチームやメンバーを鼓舞するスキルを身につけ、長く豊かな伝統を持つこの偉大な運動の真の重要メンバーとなることが期待されています。私たちは、全てのクラブを、献身と喜びをもって奉仕し、人々の生活に触れ、恵まれない地域社会を改善するために、活発で活気に満ちた奉仕クラブへと変貌させることを目指しています。

どうぞこの資源を探求し、それらを利用して、有能で卓越した、そして幸せなクラブメンバーとして成長してください。

国際 LTOD 事業主任 エドワード・オング



「強い義務感を持とう 義務はすべての権利に伴う」



キングスウッド ワイズメンズクラブ (英国・ブリストル)

「ロックダウン」を初めて知った日、「ズーム」という言葉が私たちの語彙に入ってきたようです。私たちは、バーチャルミーティングがメンバーを繋げる手段であり、メンバーの経験から学び、必要に応じて支援を提供する手段であると決めました。

8人からなる最初のミーティングで、私たちはすぐに、毎月の土曜日の朝のコーヒーモーニング集会、それは、地元の買い物客にコーヒーとケーキを提供し、地域の慈善活動のための資金調達を目的としたものでしたが、これの代わりとなる可能性を感じました。しかし、もしこの集会の目的が私たちの結束を維持することだったとしたら、なぜ月1回の集まりにしておくのでしょうか？

だから私たちは、毎週それを行っています。多くの会員がコーヒーモーニングに参加し、お茶やコーヒーにお金を使うことが多かったので、これらの支出の価値を脇に置いて、クラブの資金に寄付することにしました。ズームミーティングから得られる収入は、平常時であればチャリティーイベントに使われていたはずのお金を、多かれ少なかれ補っています。

私たちのミーティングは、約1時間15分に亘って行われ、それぞれが、この特異な状況下でどのように対処しているかが話されます。



私たちのメンバーのうち2人はブリストルから数百マイル離れたところに住んでいます(1人はパリ、もう1人はスコットランドのダンディー)ので、年に1回程度ではなく、すべてのミーティングで彼らに会えるのは素晴らしいことです。

バーチャル・コーヒーモーニングは、私たちのブリティッシュ『ヤングスター』で紹介しましたが、すぐに海外の友人からも参加したいとのリクエストがありました。このようにして、毎週のズームミーティングには、ドイツ、カナダ、オーストラリア、日本、そして私たちの隣人であるハナム(ブリストル)ワイズメンズクラブからの参加者が含まれています。新型コロナウイルスの制限について議論が行われると、私たちは皆、同じような状況を経験していることに気付きます。

私たちは現在、18回のズームミーティングを開催しています。7月25日のミーティングでは、会長の引継式も行いました。出席率は、いつも良好ですが、独身会員には、特に良い助けになっています。ある女性メンバーがこう言いました"ズームミーティングは私の正気を保ってくれるものである"。

グラハム・ウォーカー 『ヤングスター』編集者

サンクトペテルブルクのワイズメンズクラブ (ロシア)

彼らは、2年以上前からホームレスの人のためのシェルターを支援してきましたが、新型コロナウイルスのパンデミックが発生したときには、さらなる支援が必要になることを知りました。約50人の男女がこのシェルターを利用しており、私たちは最も必要とされているものは何かを尋ねました。それ以来、私たちは彼らのためにリネン類、枕、毛布、下着を集めて届けてきました。

地域 PR 事業主任 マリーナ・マカロワ



国際執行役員のご紹介



国際会長
ジェイコブ・クリステンセン
デンマーク リンケピングクラブ
7歳
妻:ランディ 子ども:5人



次期国際会長
キム・サンチェ
韓国 ギムヘセブクラブ
60歳
妻:リー・ミュンヒュー 子ども:4人



直前国際会長
ジェニファー・ジョーンズ
オーストラリア アデレードクラブ
73歳
夫:ラッセル 子ども2人



国際会計
フィリップス・チェリアン
インド バンガロールインディラナガークラブ
62歳
妻:サビー 子ども2人